

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P2～3 大型台風が連続で直撃
- P4～7 むらの話題
- P8 田検中男子バレー部全国へ
- P9 島っ子体験学習
- P10～13 お知らせ
- P14～15 議会議員選挙・みんなの広場
- P16 村民のうごき



けんこくでん
「献穀田の碑」建立の記念式典で披露される宇検村指定無形文化財の芦検稲すり踊り（10月14日撮影）
【※詳細につきましては、次号へ掲載します。】

三つの大型台風が連続で直撃。 村内各地で大きな被害 台風15号・台風16号・台風17号



台風15号の影響で発生した須古～部連間の崖崩れ



台風17号により倒壊し飛ばされた倉庫（阿室）



台風15号発生後の8月30日に阿室校区3集落の区長らと平田公民館で対応について協議をする村長（左）と崖崩れによる全面通行止めのため陸路での通行が寸断された阿室校区へ運ぶための救援物資を準備する役場職員（右）



奄美大島では八月下旬から一カ月あまりの間に、台風15号、16号、17号と三つの大型台風が連続で直撃し、各地に大きな被害をもたらしました。

台風15号は八月二十六日から二十七日にかけて、奄美地方全域を暴風域に巻き込みながら通過。本村では総合体育館の屋根が大きく剥がれるなどの被害が発生しました。

また、台風15号の発達した雨雲が流れ込み、断続的に非常に激しい雨が降り、田検校区にて河川氾濫及び冠水の影響で157名の方が避難をしました。

さらに、村内七箇所ですべり発生。全面通行止めによる交通規制のため阿室校区（屋鈍・阿室・平田）の三集落は、陸路での交通アクセスが寸断される状態が一週間も続きました。

台風16号は九月十六日昼過ぎに最接近。住宅への被害は少なかつたものの、15号に続き佐念く平田間で崖崩れが発生し、二日間わたり陸路での通行が出来なくなりました。



平田漁港から湯湾の漁協組合前まで臨時運行された船から降りる利用者



台風 15 号により屋根の片側が大きく剥がれる宇検村総合体育館



台風 15 号により崖崩れが発生し電線に引っかかる大木（芦検）



台風 17 号により室内へ強い風が吹き込み窓などが散乱する阿室小中学校



台風 17 号で床上浸水の被害を受け復旧作業に追われる村民（名柄）



台風 17 号で屋根のトタンが飛ばされ大きな穴が開いた住宅（阿室）

《避難の状況》

台風	世帯数	避難者数
15 号	115	157
16 号	8	12
17 号	64	101

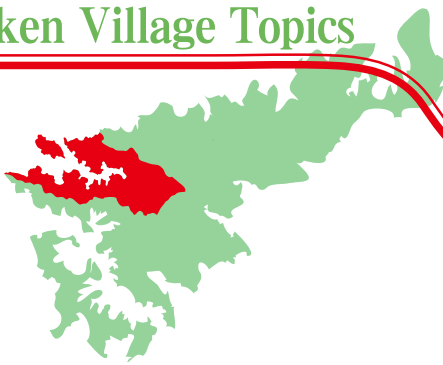
河川の氾濫や冠水の危険性があったため村内各地域で多くの村民の方が避難をする事態となりました。

三つの台風の中で、最も被害をもたらした台風17号は、九月二十九日から三十日にかけて通過。崖崩れや河川の氾濫が多数発生し、村内で一棟の住宅が半壊、三十二棟の住宅が一部損壊、十七棟の住宅が床上浸水、九十八棟の住宅が床下浸水となる大きな被害を受けました。

三度も直撃した台風は生活にも大きな影響を与え、佐念く平田間は台風が直撃する度に崖崩れが発生し陸路での通行が寸断。交通規制が長く続いた台風15号と17号の際は、村漁業協同組合に全面的な協力を頂き、船舶の臨時便を運行しました。

また、村内全域での長期的な停電も連続で発生。その影響で携帯電話も通話不可となり、一部の地域では断水も発生するなど不便な状態が続きました。

今回の台風災害を教訓に、本村では消防団・福祉協議会・漁協組合など各関係機関との連携を更に充実すると共に、災害時の電力確保のための新たな送電ルートの整備や、停電になった場合でも携帯電話を長時間使用出来るように中継基地のバッテリー設備の充実を図ってもらうなど関係各社へ対応を強く要望していきます。



わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



消防操法大島地区大会で優勝

～ 芦検・名柄分団ポンプ車の部～

第40回大島支部消防操法大会が6月24日に沖永良部和泊町の伊延港で開催され、宇検村消防団がポンプ車の部で優勝に輝きました。

ポンプ車の部で優勝を果たした宇検村消防団 大島支部では同大会を隔年で開催しており、団員の消防技術の向上や士気高揚などを目的に実施しています。今回の大会へは奄美群島12市町村の消防団員約150名が出場。消防ポンプ自動車などからホースを伸ばして放水し、標的を倒すまでの操作の確実性や安全性など、消防操法の技術を競い合いました。

宇検村消防団の代表として、持ち運び可能な小型動力ポンプを使用した「小型ポンプの部」へ湯湾分団が出場し5位の結果となり、消防ポンプ自動車を使用した「ポンプ車の部」へ芦検分団と名柄分団の合同チームが出場し、ポンプ車の部では24年ぶりの優勝となる快挙を達成しました。また、芦検分団・名柄分団の合同チームは8月30日に県消防学校（日置市）で開催された県大会へ、大島支部の代表として出場し9位の結果となっています。



卓上はた織り機でコースター作り挑戦する生徒

はた織り体験学習を実施

～ 名柄小中学校で地域の方も参加 ～

本村の名柄小中学校（川上 ^{かわかみ てつひろ} 哲博校長）で6月28日に、はた織り体験学習が実施されました。

同校では「本物に触れる・本物を知る」をテーマに島の伝統文化などの体験学習を積極的に取り組んでおり、今年2月には大島紬を着る体験を行っていました。今回ののはた織り体験もその一貫として実施されたもので、奄美の染め織り文化の活性化を目指す奄美市名瀬の団体「あまみ～るクラブ（^{うちやま はつみ}内山 初美代表）」の皆さんが指導にあたり、大島紬の制作工程や柄などについて学んだ後、児童生徒は卓上はた織り機でのコースター作りや大島紬のはた織り体験を楽しみました。

川上校長は「本物に触れ、感動することがとても大切です。子ども達は、奄美の良さを知るととても貴重な体験をすることが出来ました。」などと話してくれました。



地域の方も多数参加

田検小で芋の苗植え

十一月の収穫楽しみ

本村の田検小学校で七月十日に、安納芋（あんのういも）の苗植え作業がありました。

これは五年前から同小学校の一、二年生が毎年行っているもので、湯湾集落の岩元岩壽（いわもと いわしゅ）さんが苗の提供と苗植えの指導をしてきています。

当日は、時折雨の降る天気の中、岩元さんの丁寧な指導を受けながら、全員で協力して苗五十本を植えていました。

収穫は十一月を予定しており、一部を学校の給食にも利用するそうです。



苗植えの指導を受ける児童

阿室校区で初めての交流会

～ 舟こぎ競争で盛り上がる～

7月22日に阿室校区（屋鈍・阿室・平田）で初めての交流会が行われ、会場となった平田漁港では舟こぎ競争などがあり賑わいをみせました。

盛り上がりを見せた舟こぎ競争のようす

これは平成22年から阿室小中学校で児童・生徒数の増加を目的に導入された「親子山村留学制度」を運営する阿室校区活性化対策委員会（吉永 常明会長）が、山村留学やIターンによる転入者と校区民との交流を目的に実施したもので、各集落から集まった大勢の住民の前で転入者が自己紹介を行った後、3集落対抗や小中学生と教員が参加しての舟こぎ競争などで交流を深めました。

阿室小中学校では、山村留学制度を導入する前の児童生徒数7人から、導入後は22人まで増えています。今後も校区の絆を深めていくため、交流会を毎年開催して行くそうです。



校区民の前で自己紹介をする転入者

夏休みに学習と水泳教室を実施

～ 村内各校から多くの児童生徒が参加～

夏休み期間中、村内の小中学生を対象に「学習教室」と「水泳教室」が実施されました。

各教室には村内の各学校から約40名の児童生徒が参加し、国語の島口教室や理科の自由研究、基礎的な泳ぎ方から記録更新へ挑戦をする水泳教室など幅広い教科に取り組みました。

「学習教室」は、これまで開催していた「夏期英語教室」を「算数・数学」「理科」「国語」といった複数の教科に広げ、4日間の日程で実施。また、今年から送迎バスの運行も始め、阿室校区や久志校区からも参加しやすくなりました。

同教室を実施した教育委員会は「来年度は各学校や地域である行事との調整を行い、より参加しやすい日程を組むと共に、水泳の他にも色々なスポーツを学べる教室を行うなど、さらに内容を充実させ参加者を増やしたい。」と話してくれました。



真剣な表情で話を聞く参加者（水泳）



元気の出る館での学習教室のようす